

「ウェルビーイング経営」を考える

佐藤 隆彦
(株式会社ヤマコン)
代表取締役社長



コンクリート圧送業とヤマコン

当社は、1966年（昭和41年）に全国的にも早い時期にコンクリート圧送の専門家として山形県で創業しました。当社の主力事業であるコンクリート圧送工事とは、生コン車によって建設現場に搬送された生コンクリートを、コンクリートポンプ車（以下CP車と記します。）を使用し、油圧等によって高さや奥行きのある所定の場所へ送り込む作業を行う建設専門工事業です。施工に携わる技能者には、「なまもの」である生コンの品質を変えることなく送り届けるための十分な経験と技能、およびコンクリートに関する知識が要求されます。現在は、伸縮式のブームを搭載したCP車を130台保有し、東北から関東の複数の拠点で稼働させ、業界最大手の地位を確立しています。当社CP車は、当社のコーポレートカラーのヤマコンレッドで真っ赤に染められており、多くの建設現場で活躍しています。中でも国内最大級のCP車は47mの長尺ブームを備えており、高所・広範囲で生コンを圧送することができます。さらに詳しい説明は、私が会長を務めている（一社）全国コンクリート圧送事業団体連合会のHPをご覧ください。[全圧連]で検索すると、トップページに「職種紹介アニメーション動画」が掲載されています。

(全圧連HP)



ウェルビーイング経営について

さて、私とウェルビーイングとの出会いは、2021年に遡ります。（公社）日本青年会議所が、ウェルビーイング経営の実践企業として全国から34社の中小企業を選出しホームページで紹介しました。当社の経営理念である「企業に参加する全ての人は、幸せでなければならない」の実現を目指してこれまで取り組んできたことが、そのままウェルビーイングの考えに合致していることで目に留まり選出された、と理解しています。

ウェルビーイングとは「体と心と社会の良い状態」のことで、一言でいえば「幸せ（な状態）」と訳されますが、経営学の中では「社員が幸せである状態」の意味を持ちます。感情としての幸せだけでなく「楽しく嬉しく働くこと」、「やる気に満ちて仕事をする」、「仲間を思いやること」などを含むとされ、近年この概念が経営課題として重視されてきています。自主性や愛情・社会への帰属意識といった物質的な豊かさとは異なる幸せ（＝ウェルビーイング）を

高めることにより、社員の幸福度が高まる→社員の創造性や生産性が高まる→会社の業績が向上する、というサイクルが生まれることが実証されています。

では、社員の幸せを実現するために具体的に何をしているかをいくつかの視点に添って述べたいと思います。

視点①「健康経営」

当社は、経済産業省が所管する「健康経営優良法人」に7年連続で認定され、さらに今年は全国の中小規模法人上位500社に与えられる「ブライツ500」の認定も2年ぶりに受けることができました。社員に長く健康で仕事に従事して欲しいとの考えから、健康管理を企業の経営課題の一つと捉え、本社専門部署による取組みを強化しています。

視点②「処遇改善」

建設業界が将来に渡って成り立つための最重要課題は「担い手の確保」です。そして、真っ先に取り組むべきことは「処遇改善」です。令和6年に第三次・担い手3法（建設業法等の一体的改正）が成立し、国もゼネコン団体も一致協力して建設技能者の確保と育成に乗り出しています。当社では、圧送技能職の適正評価のためプロジェクトを立ち上げ、社員の年収アップ、福利厚生制度の充実はもとより、キャリアパスに基づく人事制度の見直しに取り組んでいます。人財を資本と捉え、その価値を最大限に引き出すことが、企業を永続的に成長させる最も効果的な投資であると考えます。

視点③「社会貢献」

当社は、2018年に「国土強靱化貢献団体認証」（レジリエンス認証）を取得いたしました。これは内閣官房国土強靱化推進室が創設した制度で、自治体や企業、学校、病院等の災害に備えた事業継続の取組みを広め、社会全体の強靱化を進めることを目的としています。大規模災害に備えたBCPを策定し、事業継続への取組みを積極的に行っている当社の姿勢が評価されたものと捉えております。毎年繰り返される自然災害への備え、老朽化がすすむ社会資本の維持更新は待ったなしです。建設事業を通じて、良質な社会資本整備の担い手として社会に貢献するという当社の使命を、引き続き果たしたいと考えます。

視点④「ブランディング」

2022年より、若手メンバーによるブランディングプロジェクトを立ち上げました。目的は「魅力あふれる企業ブランドを創造し、イメージアップを図る」、そしてそのゴールは「職員に当社で働くことに誇りを持ち、毎日のモチベーションを高めてもらうこと」にあります。メンバーが協議して新しい企業メッセージ「未来を…あっ！そうしたい。（圧送したい）」を発表しました。100年企業に向かって日々成長と変革を続ける当社の姿勢をメッセージに込めています。当社のみならず圧送業界全体の魅力を皆様にお伝えするため、様々な場面で発信していきます。

私たちの価値観は、「モノの豊かさ」から「心の豊かさ」へと移り変わってきています。企業にとっても、持続的・安定的な成長を目指すうえでまずは職員が幸せであることが大事です。これからも、少しずつではありますが職員の幸せ実現のため、ウェルビーイング経営を進めていきたいと考えています。